



Fukuoka Prefectural University

Kendai Magazine

福岡県立大学広報誌

2026
no.38



Contents

学長挨拶	P2
卒業証書・学位記授与式	P3
成績優秀者	P4~5
入学式	P6
秋興祭	P7
TOPICS	P8~9

サークル紹介	P10~11
教員研究紹介	P12
就職活動奮闘記	P13
卒業生就職・進学実績	P14
新任教員紹介	P15



学長
挨拶

柴田 洋三郎 学長



十年ひと昔、コロナ禍を境にして世の中、景色が変わりました。DX（デジタル変革）が一挙に進展身近なところでは毎週のような飛行機での東京出張が、今ではWEB・ハイブリッド会議が標準、学内に居ながらにして学外の種々会合に一日3、4回参加可能です。時にはズルして同時時間帯の複数会議に掛け持ち出席、まるで量子論の「多次元世界」に迷い込んだ気分、一体どの会議で発言しているのやら「量子もつれ」状態を体験できます。

少子化もさらに進み、共通テスト受験者はピーク時の2割減、大学入学者の半数超が「年内入試」です。従来の受験学力など認知領域に加え、意欲や目標など情意領域をみる面接が必須化されました。大学入学後の追跡研究から、卒業時の学業成績は、付け焼刃の入試学力とは全く無関係、入学初年次の成績と強い相関を示し、「鉄は熱いうちに打て」です。

昨年の本誌37巻拙稿で述べた、中央教育審議会の「知の総和」答申では、少子化を受け高等教育の「規模適正化」とともに「質向上」を目指して、評価制度が変わります。「新たな評価」では、学生の学修成果の把握・提示だけでなく、大学の教育成果自体が逆に段階評価されます。現行は各認証評価機関が評価基準を設定し、一大学全体を照合審査して「適合」か「不適合」と判定する、機関別評価です。それが新制度では、国立・公立・私立大を一元化した共通「データプラットフォーム」で、まず大学の全学体制を点検します。この第一関門をパスすると、次に大学が設置した専攻分野毎の「学位プログラム」を審査する、すなわち「学部・学科」部門別に、その教育レベルを分析評価します。判定結果は、「要是正」はアウト、質保証の観点をクリアした「二つ星」、質改善・向上が認められる「二つ星」、さらに優れた成果を挙げている「三つ星」の4段階で、学部学科毎に6年に一度一般に公表されます。

この「新たな評価」では、どのように学生を育て社会に送り出しているかが主眼です。評価項目として①「養成する人材像」に照らし必要かつ学位にふさわしい資質・能力を示す「卒業認定・学位授与の方針（DPP）」②その達成のための教育課程・環境・体制を整備した「カリキュラム方針（CIP）」③その学修成果を多面的に把握する体制④CIPに照らし入学過程で身に付けている資質・能力等やその評価・判定の基準を示す「入学者の受け入れ方針（AP）」と、APに即した入学者選抜⑤卒業時点で「何を学び、身に付けたのか」多面的な可視化⑥「養成する人材像」を体現した学生の社会への輩出⑦学生の学びや成長の支援への恒常的な自己改善

⑧多様な外部意見を定期的に点検・評価し改善・向上を図る体制、など盛り沢山、大変です。

人生百年時代、これからの先行き不透明で急速に変貌するVUCAの時代を生きていく学生たちにとって、一体何を修得すれば充分なのか、「養成する人材像」にまず悩むところです。世は第4次AIブーム、チャッピーに慣れ親しんだデジタル・ネイティブの学生にどんな学びを身につけてもらうのか。幸いにも本学では多くの「学位プログラム」が種々の「国家資格」や「教職免許」を目指すカリキュラムを設定しています。「国家資格」等は、貨幣と同様に体制が存続する限りは保障される便法な一生モノ資格です。

ところが授業で得る知識や技能・情報の多くは時とともに移ろい、とりわけ最先端のものほどやがて陳腐化し次の最新にとって代わられる宿命にあります。一方で教育を通じて養われた好奇心や探究心、批判的思考などの知力は一生身についた財産であり豊かな人生の糧となります。教育の最終目的は一時的な知識の習得ではなく、個人の人格や思考の基盤を築き、未知にチャレンジする姿勢を育むことでしょう。この宇宙、我々の人知可能なものはわずかに5%、残りはダークマター26%、ダークエネルギー69%といまだ未知・暗黒に満ち満ちています。

はてさて、デジタル文明・IT社会の次の世は一体どんな景色になるのでしょうか。おそらく今のAIやスパコンもやがては「古典」と化し、より自然の反映として「量子超越」の時代が到来するのでしょうか。ギリシャのヘソ曲がり哲人、ディオゲネスの遺言「うつ伏せに埋葬してくれ、ひっくり返った世の中を見たいから」、全く同感です。



卒業証書・学位記授与式



令和8年3月17日（火）、学部卒業生250名、大学院修了生18名、併せて268名の卒業式が行われました。昨年に引き続き、卒業生・修了生が一同に講堂に集まる式典となりました。保護者の皆さまにも動画中継ではありますが、本学を訪れお子様の卒業を見守られていました。

柴田洋三郎学長は式辞の中で、『将来予測が困難・極めて不透明なVUCA時代に世に出て行く、君たちへのはなむけとして、フランスの科学者、ルイ・パスツールの、「Chance favors only the prepared mind」という言葉をお贈りします。

実は、昨年ノーベル化学賞を受賞された北川進先生も「幸運は準備した心に宿る」といわれ、「いい先生、いい同僚、いい友達、それは偶然の出会いではない、日々いろんな経験を大切に心がけ積み重ねることによって、花開く」と語っておられます。

皆さん方には、すでに本学在学中、実技やボランティア、インターンシップなど各種の活動によってprepareされた、KEY COMPETENCY 社会人基礎能力、とりわけ君たちの多くが従事する、福祉、保健、医療の分野において必須となる「対人支援力」「対人折衝力」などの基本スキルが、普遍的な基盤的人間力として終生身につけています。

どうかぜひ自信を持って、何事にも積極的に取り組んでください。真のプロフェッショナルとなるには、失敗を恐れてはなりません。失敗は最も成長できる好機です。その時々、最適解を求め、幾度・失敗・挫折を味わい、それを乗り越えて立ち上がったか、何度・修羅場をくぐりぬけてきたか、その体験がprepared mindsとして積み重なり、自ずと幸運が訪れることでしょう。』と述べました。

これを受けて、学部卒業生、大学院修了生の代表者が謝辞を述べました。

卒業生たちは、卒業式終了後もキャンパス内で記念撮影をしたり、友達とおしゃべりをしたりと、福岡県立大学で過ごす最後の一日を笑顔で楽しんでいました。



看護学部
看護学科

K・Tさん



この4年間は、様々な方々と出会い、多くのかけがえのない経験をする事ができた時間でした。

大学生活では楽しく充実した日々を過ごしましたが、特に臨地実習では、患者さんお一人おひとりを理解した看護を実践する難しさなどを感じ、壁にぶつかることも多くありました。しかし、先生方や指導者の方々、温かい言葉をかけてくださった患者様、そして友人や家族に支えられ乗り越えることができたと感じています。

今後は、看護師として、そして一人の人として、自分も周りの誰かを支えることができるように、努力を重ねていきたいです。4年間本当にありがとうございました。

看護学部
看護学科

H・Sさん



福岡県立大学での学生生活は、多くの出会いと学びに恵まれた4年間であったと実感しています。

私はこの4年間を通して、仲間と協力して物事に取り組むことの大切さを学びました。日々の課題や実習、卒業研究等において困難に直面することもありましたが、そのような時こそ一人で抱え込まず周囲に相談する勇気を持つことで、新たな視点や考えに触れ、より良い解決へとつなげることができました。

これから迎える新たな出会いと学びに期待を膨らませつつ、今日まで支えてくださった方々への感謝を忘れずに、この4年間の経験と学びを生かして今後も研鑽を重ねてまいります。本当にありがとうございました。

看護学部
看護学科

N・Nさん



福岡県立大学での4年間は、当たり前のことを当たり前に行う大切さをより実感できた時間でした。日々の学習や実習を重ねる中で、人に頼ることも少しずつできるようになり、多くの人に支えられていると感じるようになりました。看護をするということは、自分一人の力では成り立たないと実感し、周囲の存在の大きさを学びました。また、一つ一つの経験が今の自分に繋がっていると感じています。

支えてくださった先生方や家族、共に切磋琢磨した友人への感謝を忘れず、これからは新たな環境においても、さらに成長していきたいと思っています。4年間本当にありがとうございました。

成績優秀者として表彰された方々です

人間社会学部
人間形成学科

F・Kさん



心理学を学ぶこと、大学院進学をすることを目指して入学してから4年間は、授業での学びとともに、この大学ならではの出会いや経験に恵まれた時間でした。当初の漠然としていた目標も、授業や実習、研究、ボランティアや研修などの活動を通して興味を広げ、将来をより具体的に描けるようになりました。

先生方には大学院進学も含めて親身にご指導いただき、多くの方々との関わりの中で成長の機会をいただきました。支え合いながら過ごした友人との時間も大切な思い出です。これらの経験を糧に、今後も学びを深めてまいります。本当にありがとうございました。

人間社会学部
人間形成学科

R・Tさん



福岡県立大学で過ごした4年間では多くの出会いに恵まれ、周りの方々のご助力のもと、様々な学びを得ることができました。決して楽しいことばかりではなく、時に悩み、立ち止まることや、困難に直面することもありましたが、丁寧に指導くださった先生方をはじめ、どんなときも温かく見守り、支えてくれた家族のおかげで、一つひとつ乗り越えることができました。また、日々切磋琢磨し、大学生活に彩りを与えてくれた友人の存在は、生涯の宝物です。卒業後も、この4年間で得た学びや出会いを大切に、さらなる成長を目指して歩んでまいります。本当にありがとうございました。

人間社会学部
社会福祉学科

K・Kさん

福岡県立大学での4年間、多くの出会いと学びに恵まれ、かけがえのない時間を過ごすことができました。福祉を学ぶ中で、講義だけでなく豊富な実習を通して、理論を実際の支援につなげていくことの難しさや、人と向き合うことの大切さ、そしてやりがいを学ぶことができました。実習や学びの中で悩んだときも、丁寧に導いてくださった先生方や、ともに考え学びあった友人たち、いつも見守ってくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、これからも学び続けながら社会に貢献できるよう努力してまいります。4年間、本当にありがとうございました。

人間社会学部
公共社会学科 M・Uさん



成績優秀者および学生表彰者は下記の基準により推薦されます。

成績優秀者

- ・ 学業において、成績が特に優秀と認められる者

学生表彰者

- ・ 課外活動において、特に顕著な成績を挙げ、かつ、課外活動の振興に功績があったと認められる者
- ・ 社会活動において、社会的に高い評価を受け、かつ、本学の名誉を著しく高めたと認められる者

人間社会学部
公共社会学科 S・Hさん



このたび学生表彰をいただき、大変光栄に思います。剣道は小学1年生から続けており、今回ともに出場した仲間は、剣道を始めた頃からの大切な存在です。今でも剣道を通じて交流が続いていることを嬉しく感じています。県大会優勝・全国大会出場という経験は、先生方や仲間、家族の支えがあってこそ成し得たものです。大学生活で得た学びと剣道で培った粘り強さを活かして、社会に出てからも成長を止めず、周囲に貢献できる人間でありたいと思います。

学生表彰者として表彰された方々です

人間社会学部
人間形成学科

M・Tさん

大学生活では、普段の講義や卒業論文の作成、実習などを通して多くのことを学びました。特にBBS活動における非行少年・虐待少年への学習支援を通して、より実践的に子供たちとのかかわり方を学ぶことが出来ました。指導してくださった先生方、切磋琢磨した友人、支え続けてくれた家族に感謝申し上げます。これらの経験を基に、卒業後は大学院へ進学し、より専門性を高めていきたいと考えています。本当にありがとうございました。

看護学部
看護学科 H・Sさん



BBSの活動では、主に更生保護施設の少年に学校の課題を手伝うなどの学習支援を行い、その中で人との関わり方や関係機関との連携など、今後の糧となる経験を多く得ることができました。また、3年間学習支援を続けていた少年から無事進学先が決まったと報告を受けた時は、本当に嬉しかったです。

新たな環境でも、誰かの助けとなれるような人間に成長できるよう努力を続けてまいります。これまで関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

令和8年4月6日（月）、学部入学生258名、大学院入学生21名及び服部福岡県知事、高橋文教委員会委員長をはじめ来賓7名、本学の役職者並びに公立大学法人の役員8名で、入学式が挙行されました。

柴田洋三郎学長は告辞の中で、「少子高齢化の進む人生百年時代、予測困難な社会を生きていく君たちが、ここ福岡県立大学で学ぶ意義は何なのか」3つの観点からお話されました。

「一つ目、大学は当然ながら学問の場です。本学では、この第一の専門的職業能力の修得を目的とした、福祉・心理・保育・看護などの学科・コースがあり、国家資格や免許の取得など、君たちの卒業当座、早速に役立つキャリア形成のコアとなります。

また大学院では知識を統合し概念を深く理解する高度専門性と問題解決能力を備えた、次世代リーダーの養成を目指しています。

一方、君たちの学年は、中学入学当初、パンデミックによるステイホームなど、急激な社会変化を経験し、将来が現在の延長上にあるとは展望できない時代を生きています。とりわけ最先端の専門知見ほど、必然的に時代とともに陳腐化する宿命を負っています。

そのうえで、本学で学ぶ意義の二つ目、この予測困難な先行き不透明な世にあって、どのような未来社会が到来しようとも、君たちが、これからの人生百年時代を、自らの手で切り拓いていける基盤的能力を身につける。すなわち「学び方を学ぶ力」を身につけることです。

3つ目、このキャンパスは、皆さん自身の人生における、将来の夢や目標にむかって、その準備をする人間成長の場でもあります。皆さん各人の人生百年において、「なりゆき・お仕着せの未来」でなく、ご自分の望む20年後、50年後の「なりたい未来」を描いて欲しいと思います。その実現のために、このキャンパスでの4年間をどのように過ごすか。

We are tomorrow's past. 明日の私たちを作るのは、今日の各人の努力です。未来の自分から、振り返った時に学生時代の努力を感謝され、ほめてもらえるように、日々充実した生活を心がけましょう。」

これを受け、学部入学生代表者が「私たち新入生は、多くの課題を抱える社会の一員であることを自覚し、積極的に課題に取り組むことができる人となるため、勉学に励み、様々な知識や経験を積み重ねていくよう努力します」と宣誓しました。

今年入学された皆さまのご入学を心よりお祝い申し上げます。



入学式

Entrance ceremony





秋興祭

第34回秋興祭にご来場いただき、誠にありがとうございました。
ご来場いただいた皆様、準備・運営にご協力いただいた関係者の
皆様、そして地域の皆様に、実行委員長として心より感謝申し上げ
ます。

令和7年度のテーマ「紡～かけがえのない今と笑顔を～」には、
「この秋興祭が一人ひとりの笑顔を紡ぐ場になってほしい」という
願いと、「めぐり逢うことのできた皆様の想いや心を繋ぎ、かけ
がえのない今を未来へと紡ぐきっかけになってほしい」という二つの
願いを込めました。当日は一時的に雨が降る時間帯もありましたが、
多くの方々に足を運んでいただき、笑顔と熱気に満ちた時間を共有
することができました。皆様の熱意と温かさに、私たち実行委員も
大きな力をいただきました。

この秋興祭が、関わったすべての方にとって、かけがえのない思
い出となり、今後の歩みを照らす一筋の光となることを願っており
ます。来年度の秋興祭も、今年以上に多くの笑顔と感動に溢れるも
のとなるよう、さらに工夫と挑戦を重ねてまいります。引き続き、
皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し
上げます。

第34回 秋興祭実行委員会 実行委員長

S・Yさん 人間社会学部 公共社会学科 4年

Topic 1

学校法人嶋田学園飯塚高等学校と 連携教育に関する協定を締結しました

令和7年8月19日（火）に、学校法人嶋田学園飯塚高等学校との間で、大学教育と学校教育の連携に関する協定を締結しました。

これは、本学の講義を生徒に開放することで、学習の幅をひろげ学問への関心を高める仕組みを盛り込んだものです。

飯塚高校の生徒が本学の講義を履修することで、本学に進学した場合に本学の卒業単位として認定できるなど、生徒にとって魅力的でメリットがある取組である一方、本学学生にとっても高校生とともに学ぶことで新たな刺激をもらうことができると考えます。

今後、協定に基づき具体的プログラムを進めていく予定です。

本学の柴田洋三郎学長は、「今回の飯塚高校との連携協定は、『高大接続』（高校から大学

への教育移行）をより円滑にし、『知の総和』（数×能力）の向上につながる大変有意義な取組です。同じ筑豊地域にある飯塚高校との連携を深めることで、目に見える成果が生まれることを大いに期待しています。今後も協議を重ね、双方の強みを生かした様々な取組を企画・実施していきたいと考えています」と述べました。



Topic 2

剣道部主将S・Hさん、 県民スポーツ大会優勝&全国大会出場決定！！

9月21日（日）に開催されました、令和7年度スポーツフェスタふくおか（第68回福岡県民スポーツ大会）剣道競技において、本学公共社会学科4年生で剣道部主将のS・Hさんが朝倉郡チームの先鋒として出場し見事優勝されました。

また、この結果により、11月に東京で開催される第73回全国青年大会剣道競技の出場権を獲得されました。

誠にありがとうございます。



Topic 3

松和会様から生活支援物資を寄贈いただきました

令和7年10月16日（木）松和会様から本学学生に支援物資をいただきました。今回で10回目の寄贈となります。

今回はお米（夢つくし）120kg、インスタントラーメン190食、カップ麺48個、うどん

20食、缶詰71個、パスタ麺160食、パスタソース196食をいただきました。

学生への心遣いと温かいご支援本当にありがとうございます。



Topic 4

看護技術極め隊が「血圧測定のドーナツトレーニング」を行いました！

血圧測定の技術向上を目的に、看護技術極め隊が12月9日（火）血圧測定のドーナツトレーニングを行いました。

机をはさんで内側に患者役、外側に看護師役の学生が二重となるよう着席し、血圧測定したら看護師役の学生が隣の席に移動していくことにより、繰り返し練習することができます。授業

の空きコマを利用し、8名の学生が参加しました。

実習以来、久しぶりの血圧測定となりましたが、積み重ねてきたトレーニングの成果を実感できる一日となりました。

定期的な技術練習を行うことにより、手際よく正確な血圧を測定できるよう、今後も活動を継続していきたいと考えています。



護身空手部



私たち護身空手部は、女子11名で毎週月曜日を中心に週1回活動しています、空手と言っても堅苦しい雰囲気は一切なく、先生のご指導のもとみんなで和気あいあいと楽しむことを大切にしています。活動内容は、自分自身の身を守るための護身技法を身につけることが中心です。週に一度の適度な運動にもなるため、運動不足を解消したい人や、基礎体力を向上させたい人にもピッタリな環境です。

さらに、夏休みや春休みなどに「英彦山青年の家」で定期合宿を開催しています、緑豊かで涼しい山の開かれた環境は、技術の向上はもちろん、生活の乱れを改善し、日ごろの疲れをいやして心身の安定をもたらしてくれます。合宿でのカレー作りといった野外調理など楽しくイベント盛りだくさんです！大学から新しいことを始めたい方や、一生モノの仲間と楽しい思い出をつくりたい方、私たちと一緒に活動してみませんか？

CLUBS &

国際交流サークル



私たちの国際交流サークルでは、留学生と学生が交流を深められるよう、さまざまなイベントを企画しています。毎年、ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなどを開催し、季節の行事を通して楽しく異文化交流を行っています。イベントではゲームや会話を楽しみながら、お互いの文化や価値観について知る機会となっています。

また、今年度は新たな活動として映画鑑賞会を企画しています。メンバーがおすすめの映画を持ち寄り、一緒に鑑賞した後に感想や意見を共有することで、国や文化による考え方の違いについて理解を深めたいと考えています。学部や学年、国籍を問わず気軽に参加できるアットホームな雰囲気が特徴です。交流を通して多様な価値観に触れながら視野を広げることができるサークルを目指して活動しています。

FPB 福岡県立大学放送局



はじめまして、FPB福岡県立大学放送局です。私たちは令和8年度から活動を始めた、学内外の学生7名による新しい放送サークルです。活動日は主に月曜日と木曜日で、部員の予定に合わせて学期ごとに調整しています。

FPBが大切にしているのは、「伝えたい誰かを想って放送する」こと。普段はNHK全国大学放送コンテストへの出場を目標に、発声練習や原稿読み、アナウンス練習などに取り組んでいます。また、ラジオやテレビなどの番組制作にも挑戦しています。人前で話す力や、相手に分かりやすく伝える力は、授業での発表や就職活動の面接、社会に出てからも役立つ一生ものの力です。経験者はもちろん、「人前で話すのが苦手」「滑舌に自信がない」という未経験者も大歓迎です。

脚本に興味のある方も大歓迎です。私たちと一緒に、声と言葉で思いを届ける力を磨いてみませんか。見学・入部をお待ちしています。

CIRCLES

魔女のさんぽみち



こんにちは。魔女のさんぽみちです。本サークルは手芸やお菓子作りなどを月に1回行なっている家庭科サークルです。現在は36名で活動を行なっており、毎回の活動内容は部員へのアンケートをもとに決定しています。今年の新歓ではパフェづくり、その後の活動では編み物やベビーカステラづくりなどを行ないました。ハロウィンやクリスマスにはお菓子パーティーも計画しており、とにかくみんなで楽しく活動することを目的としています。先月行った編み物の活動では、学年に関わらず編み物が得意な部員が初めての部員に教えるなど、他学科・他学年の交流も活発です。そのため、たくさんの友達ができるのもこのサークルの魅力です。

何かを作ることが好きな方、ゆったりとお喋りしながら楽しく活動したい方は是非気軽に遊びに来てください。活動日は毎回、最も多くの部員が来れる日にしているため、明確な日付をお伝えすることができませんが、興味のある方はインスタなどでご連絡いただくと嬉しいです！

教員研究紹介

看護学部 看護学科看護コース

准教授 加藤 法子

授業風景



教育について

基礎看護学概論、看護過程、看護理論など、看護学の基盤となる科目を担当しています。授業では、「看護とは何か」「人をどのように捉え理解するのか」「対象者にとってよりよい看護とは何か」といった問いを大切にしています。抽象的な概念や理論を単なる知識として学ぶのではなく、身近な出来事や日常生活の事例、看護場面の事例などと結び付けながら考えることで、学生が主体的に理解を深められるよう工夫しています。また、学生一人ひとりが自ら問いを立て、看護について考え続ける姿勢を育むことを大切にしています。

研究について

私たちは日常生活の中で、立つ・座る・歩くといった何気ない活動を繰り返しながら生活しています。そのような日常生活の中でも、身体にはむくみや疲労感、不快感など、さまざまな変化が生じています。私は、このような身体の変化を適切に整えることが、健康の維持や生活の質の向上につながると考えています。現在は、長時間の立位や座位によって生じるむくみや身体感覚に着目し、それらを客観的・主観的な指標から評価するとともに、圧迫療法などの身体への働きかけがむくみや身体に及ぼす影響を研究しています。その成果を看護実践や健康支援に活かすことを目指しています。

おすすめの 本

V・E・フランク
それでも人生に
イエスと言う



私がお勧めしたい一冊は、V・E・フランクの『それでも人生にイエスと言う』です。

フランクの『夜と霧』を読み、極限状態に置かれてもなお生きる意味を見出そうとする人間の強さに深く心を動かされました。

その後、本書を読んだことで、「どのような状況であっても人生には意味がある」という考え方に改めて触れ、人間の存在や生きることについて深く考える機会を得ました。

看護に携わる中で人の人生や価値観に触れる機会も多く、本書は、人間を理解することや、その人らしさを支えることの大切さを改めて考えさせてくれました。

看護における人間観を考えるうえでも多くの示唆を与えてくれる一冊であり、看護に携わる人はもちろん、人間について深く考えたい方にもお勧めしたい本です。

H・Nさん

看護学部 看護学科 4年
業種および職種 ▼ 看護師

就職活動期間

私は3年生の実習終了後の2月頃から本格的に就職活動を始めました。事前に就職したい地域や自身の中で譲れない条件を整理したうえで、合同就職説明会への参加やマイナビを活用して病院研究を行いました。

第一志望の病院を決めてからは、オンライン説明会に参加し、病院のホームページや公開資料を確認し、理解を深めていきました。また、アドバイザー教員やキャリア相談室の方からの支援を受けながら履歴書作成や面接対策に取り組みました。

現在

就職活動は無事に終わりましたが、看護師として働くためには国家試験への合格が必要であるため、現在は国家試験に向けた学習に取り組んでいます。試験までまだ時間があると思います、中々取り組みやすいことも多いですが、計画的に勉強を進め、合格を目指して努力していきたくと考えています。また、残り少ない学生生活なので、旅行などを通して様々な経験を積み、有意義な学生生活を送りたいと思います。

未来

私は、知識と技術を着実に身に付け、患者様に最善の看護を提供できる看護師になりたいです。また、働きながら自分の興味や適性に合った専門分野を見つけ、その分野で専門性を高めながら自分らしい看護を実現していきたいです。さらに、人に教えることが好きなので、経験を積んだ後は先輩から頼られる先輩となり、相談しやすい環境づくりや指導にも携わっていききたいと思っています。

自分にとって

就職活動とは？

自分を見つめ直して、将来と向き合う機会

就職活動奮闘記

T・Oさん

人間社会学部 公共社会学科 4年
業種および職種 ▼ 金融(銀行)業 総合職

就職活動期間

私が就職活動を開始したのは3年生の夏です。当時、希望する業界や職種が特になかったため、まず自己分析を行い、自分が仕事に求める価値観や軸について考えました。その中で、私は以前から漠然と「生まれ育った福岡で、世代問わず多くの人々の役に立てる仕事がしたい」という思いがあることに気づきました。そこで、人々の生活基盤である「お金」に携わることのできる金融業界に絞ってインターシップに参加しました。

現在

希望していた金融業界で働けることを大変嬉しく思うとともに、社会人としての新たなスタートに期待を抱いています。現在は、一日でも早く会社に貢献できる人材になれるよう、TOEIC対策や

未来

銀行はお客様の大切な資産をお預かりするだけでなく、創業や事業運営の支援などを通して、お客様の人生や挑戦に深く関わることでできる仕事です。現状に満足することなく、常に成長し続けながら責任感を持って業務に取り組み、お客様から信頼される行員になることを目指します。

自分にとって

就職活動とは？

自分と向き合える絶好の機会

令和7年度 卒業生の就職・進学実績

公共社会学科 [50]

- 民間企業・団体等 [37]
 - ・株式会社JR長崎シティ
 - ・株式会社イズミ
 - ・株式会社クリック
 - ・株式会社グロップ
 - ・株式会社コスモス薬局
 - ・株式会社サエラ
 - ・株式会社さなる九州
 - ・株式会社スイデン
 - ・株式会社スタッフエージェンツ
 - ・株式会社トライアルカンパニー
 - ・株式会社ドラッグイレブン
 - ・株式会社ネオ
 - ・株式会社バル
 - ・株式会社ベネッセスタイルケア
 - ・株式会社よかタウン
 - ・株式会社リンクレア
 - ・F F証券株式会社
 - ・TOTOプラテクノ株式会社
 - ・イフン産業株式会社
 - ・英進館株式会社
 - ・沖縄都市モノレール株式会社
 - ・九州電力株式会社
 - ・ゲイアスター不動産株式会社
 - ・ゲンキー株式会社
 - ・国際医療福祉大学・高邦会グループ
 - ・コネクシオ株式会社 (2)
 - ・山九株式会社
 - ・シャボン玉石けん株式会社
 - ・テクバン株式会社
 - ・日総工産株式会社
 - ・日本郵便株式会社
 - ・富士伊豆農業協同組合
 - ・富士ソフト株式会社
 - ・愛媛県信用農業協同組合連合会
 - ・山下医科器械株式会社
 - ・東京海上日動火災保険株式会社

- 官公庁等 [8]
 - ・国土交通省 九州運輸局
 - ・国土交通省 九州地方整備局
 - ・福岡県警察
 - ・広島県警察
 - ・久留米市
 - ・大野城市
 - ・八女市
 - ・中津市

- 教員 [4]
 - ・福岡市立多々良中学校
 - ・北九州市立小倉北特別支援学校
 - ・宗像市立河東中学校
 - ・遠賀町立遠賀中学校

- 社会福祉施設等 [11]
 - ・社会福祉法人福岡市社会福祉事業団

社会福祉学科 [50]

- 社会福祉施設等 [30]
 - ・社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
 - ・社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会
 - ・社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
 - ・社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
 - ・社会福祉法人 新宮町社会福祉協議会
 - ・社会福祉法人 北九州市福祉事業団 (指導員)
 - ・社会福祉法人 甘木山学園 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人 カリタスの園 天使育児園 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人 共生の里 (支援員)
 - ・社会福祉法人 桑友 (福祉相談・指導専門員)
 - ・社会福祉法人 佐福会 (支援員)
 - ・社会福祉法人 三活会 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人 実寿庵 (介護職員)
 - ・社会福祉法人 シティ・ケアサービス (介護職員)
 - ・社会福祉法人 自立の里 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人 日本傷痍者更生会 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人 野の花学園 (支援員)
 - ・社会福祉法人 福岡市民生事業連盟 ケアタウン茶山 (介護職員)
 - ・社会福祉法人 若楓 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人 キリスト者事仕会 大牟田恵愛園 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人 こぐま福祉会 こぐま学園 (児童指導員)
 - ・全国健康保険協会 (事務)
 - ・医療法人慈恵会 介護老人保健施設 わかさ (相談員)
 - ・一般社団法人 優学会 (児童指導員)
 - ・株式会社クラ・ゼミ (児童指導員) (2)
 - ・株式会社ケア21 (介護職員)
 - ・株式会社LITALICO (児童指導員)
 - ・セントケア・ホールディング株式会社 (介護職員)
 - ・特定非営利活動法人 BrighterSteps (支援員)

- 官公庁等 [10]
 - ・福岡県 (福祉職) (3)
 - ・福岡市教育委員会 (SSW) (2)
 - ・北九州市 (PSW (1)、福祉職 (1))
 - ・飯塚市 (福祉職)
 - ・呉市 (福祉職)
 - ・独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (事務)

- 病院・医療施設 [2]
 - ・産業医科大学病院 (MSW)
 - ・社会医療法人 北九州病院 (事務)

- 民間企業・団体等 [8]
 - ・株式会社麻生
 - ・株式会社エスクリ
 - ・株式会社西日本シティ銀行
 - ・株式会社日本テレメッセージ
 - ・日本コークス工業株式会社
 - ・日本生命保険相互会社
 - ・日本レコード・キーピング・ネットワーク株式会社
 - ・菱友技研株式会社

※SSW: スクールソーシャルワーカー
MSW: 医療ソーシャルワーカー
PSW: 精神保健福祉士

人間形成学科 [53]

- 幼稚園・保育所 (公立) [1]
 - ・筑紫野市 (保育士)
- 幼稚園・保育所・認定こども園 [12]
 - ・社会福祉法人四季の会とろこ保育園 (2) (保育士)
 - ・社会福祉法人秀和会認定こども園わかやま保育園 (2) (保育教諭)
 - ・社会福祉法人コスモス聖会 (保育士)
 - ・社会福祉法人恵国会広済寺保育園 (保育士)
 - ・社会福祉法人玄洋会 (保育士)
 - ・社会福祉法人香梅会 認定こども園エミールこども園 (保育士)
 - ・社会福祉法人与摩保育園 (保育士)
 - ・社会福祉法人藤玉会 認定こども園洗心保育園 (保育士)
 - ・西花畑学園 陸奥こひつし幼稚園 (幼稚園教諭)
 - ・小学館アカデミー保育園 (保育士)

- 民間企業・団体等 [18]
 - ・株式会社ECC
 - ・株式会社irodas
 - ・株式会社アソウ・ヒューマニセンター
 - ・株式会社キャリア
 - ・株式会社共栄ビル・パートナーズ
 - ・株式会社コブ舞祭
 - ・株式会社シンスホールディングス
 - ・株式会社タカギ
 - ・株式会社田村ビルズグループ
 - ・株式会社図書館流通センター
 - ・株式会社ドリーム・チーム
 - ・株式会社永池
 - ・株式会社フルキャストホールディングス
 - ・青山地建株式会社
 - ・北九州青果株式会社
 - ・ミサワリフォーム九州株式会社
 - ・楽天カード株式会社
 - ・農業 (自営)

- 社会福祉施設等 [3]
 - ・社会福祉法人さつき会 (児童福祉指導員)
 - ・社会福祉法人島根県社会福祉事業団 (介護士・支援員・指導員)
 - ・株式会社 LITALICO (保育士・支援員・指導員)

- 官公庁等 [6]
 - ・法務省 (法務技官) (3)
 - ・香取市 (事務)
 - ・国東市 (事務)
 - ・石川県警察 (警察官)

- 病院・医療施設 [1]
 - ・医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ

- 大学院・専門学校等進学 [12]
 - ・福岡県立大学大学院 (7)
 - ・九州大学大学院
 - ・大分大学大学院
 - ・福岡大学大学院
 - ・兵庫教育大学
 - ・愛媛大学大学院

看護学科 [87]

- 病院・医療施設 [61]
 - ・独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 (7)
 - ・国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 (5)
 - ・産業医科大学病院・産業医科大学若松病院 (4)
 - ・公立学校共済組合九州中央病院 (3)
 - ・日本赤十字社 福岡赤十字病院 (3)
 - ・独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター (2)
 - ・福岡大学病院 (2)
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会八幡総合病院 (2)
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会飯塚協栄病院 (2)
 - ・国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 とくしま医療センター東病院
 - ・独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
 - ・地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
 - ・地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市民病院
 - ・地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院
 - ・大分県立病院
 - ・川崎市立川崎病院
 - ・東京慈恵会医科大学附属病院
 - ・順天堂大学医学部附属浦安病院
 - ・大阪公立大学医学部附属病院
 - ・大阪医科薬科大学病院
 - ・福岡大学筑紫病院
 - ・久留米大学病院
 - ・熊本大学病院
 - ・大分大学医学部附属病院
 - ・国家公務員共済組合連合会 千早病院
 - ・日本赤十字社 唐津赤十字病院
 - ・公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院
 - ・一般社団法人福岡県社会保険医療協会 社会保険大牟田天領病院
 - ・一般社団法人福岡県社会保険医療協会 社会保険田川病院
 - ・公益財団法人甲南会 甲南医療センター
 - ・医療法人徳洲会 鹿児島徳洲会病院
 - ・社会医療法人杏誠会 宮西病院
 - ・社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院
 - ・社会医療法人緑泉会 米盛病院

- 官公庁 (保健師等) [7]
 - ・福岡県
 - ・嘉麻市 (2)
 - ・田川市
 - ・粕屋町
 - ・須恵町
 - ・始良市

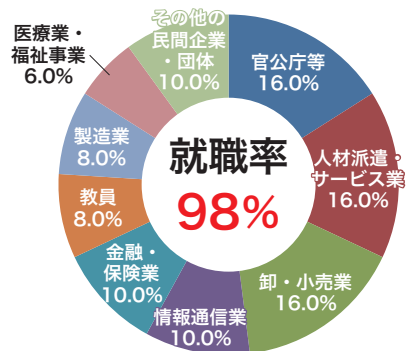
- 教員 (養護教諭等) [10]
 - ・福岡教育大学附属小倉中学校
 - ・福岡県立東筑高等学校
 - ・福岡県立糸島特別支援学校
 - ・北九州市立小倉北特別支援学校
 - ・柳川市立東宮永小学校
 - ・刈田町立南原小学校
 - ・佐世保市立大塔小学校
 - ・十島村立立之島学園
 - ・学校法人扇城学園 東九州龍谷高等学校
 - ・福岡海星女子学院高等学校

- 民間企業・団体等 [2]
 - ・トヨタ自動車九州株式会社 (保健師)
 - ・エムゼロエージェンシー

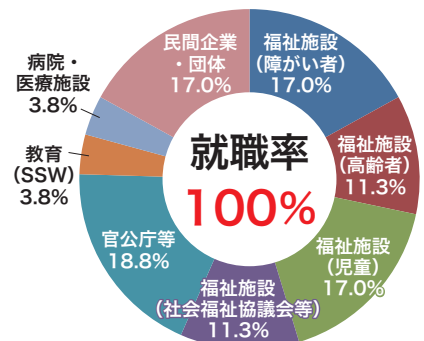
- 大学院・専門学校等進学 [7]
 - ・福岡県立大学大学院 (2)
 - ・久留米大学大学院
 - ・西南女学院大学 (助産科) (3)
 - ・山口県立大学 (別科助産専攻)

令和7年度 卒業生の進路状況

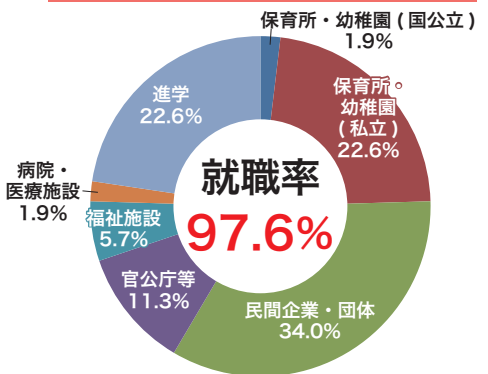
公共社会学科



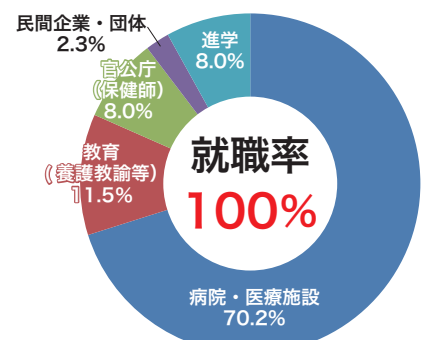
社会福祉学科



人間形成学科



看護学科



新任教員の ご紹介

令和8年4月1日付
※令和8年5月1日付

大塚 純都

人間社会学部
講師

専門分野：スポーツ科学、運動生理学



薄井 晴

人間社会学部
講師

専門分野：都市社会地理学



早瀬 麻子※

看護学部
准教授

専門分野：助産学・リプロダクティブヘルス看護学



森永 朗子

看護学部
講師

専門分野：地域・在宅看護



神代 竜育

看護学部
助教

専門分野：基礎看護学



藤村 賢宏

看護学部
助教

専門分野：クリティカルケア看護



蔣 允杰

基盤教育センター
講師

専門分野：朝鮮近現代史・日韓関係史



福岡県立大学基金 ご寄附のお願い

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生生活、国際交流、教育研究活動等の事業の実施に活用されますが、用途を指定することもできます。

皆様方からの格別のご協力とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

■ご寄附のお申込み方法

「福岡県立大学」のホームページに詳細をご案内しておりますのでご確認ください。下記の連絡先にお問い合わせ願います。

■連絡先

経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



公立大学法人 福岡県立大学

学部・学科

人間社会学部

- ・公共社会学科
- ・社会福祉学科
- ・人間形成学科

看護学部

- ・看護学科

大学院

人間社会学研究科
看護学研究科

 Fukuoka Prefectural University

Kendai Magazine

2026
No. 38

- 発行 福岡県立大学
- 所在地 福岡県田川市伊田4395
- 電話 0947-42-2118
- 編集 学務部 教務入試班

<https://www.fukuoka-pu.ac.jp/>



ホームページ



Instagram